

## 基本方針（案）

事務局長 大沼 和広

原点回帰、私達が住む西村山には山岳信仰の要出羽三山があり、その山岳信仰に於いて月山は「現在」を、湯殿山は「未来」を司るとされています。失われた古き良き精神文化を顧みること、そして西村山を造り上げてきた先人達に感謝する心を持ち続けることで、我々がおかれている「現在」を把握することができ、「未来」のあるべき姿を実際に体現できることを確信いたします。

事務局として、総務的な側面では、対外的な窓口としていろいろな方面から寄せられる情報を把握し、的確に判断して必要とされている部署に伝えていきます。理事会においては各委員会から上程される議案について事前に精査し、会議では意見交換に集中できる資料作成と設営を心掛け、理事会の効率化を図ります。また、日本J C、東北地区協議会、山形ブロック協議会との連絡を密にし、それぞれスケジュールを細部に管理した上で、諸会議、各会員大会への参加を積極的に促します。

財政的な側面では、公益法人制度改革に伴う平成20年度改正会計基準の法令及びルールに従い、次年度の公益社団法人申請に向けて、公益性を重視した、事業計画並びに予算計画を遂行していきます。各委員会との密な議論をした上で、費用対効果が高く、最大限の成果をもたらせる基盤を築いていきます。また情報開示を徹底し、透明性を向上していきます。その他、対外及び対内からの様々な要請、要望に対し柔軟に対応していきます。

我々（社）寒河江青年会議所は2010年度公益社団法人格を取得する上で、重要な年度となります。地域に対してより利益を生み出していく寒河江青年会議所を目指し、事務方の要として首尾良く事務局の運営に努めます。

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33  
34  
35  
36